自分にかえす ふるさとにかえす

















私は塩田や黒米などから「伝統を受け継ぐ苦労と大切さ」、「公民館や青年団とのつながり」、「地域の方とのコミュニケーションの楽しさ」を見つけました。みんなにもよさをいっぱい見つけながらふるさとの未来を創ってほしいな。

PTA会長

私の母校でもある大谷中学校の校歌の中の「強く正しく寛らかに」のように、純粋に事の善悪を理解し、正しい行いができるようになってほしいです。さらには、広い心をもって人に接し、優しくできる思いやりのある人間として育ってほしいと願います。

PTA副会長

校歌には、ブロック目標やふるさとが醸し出す自然の素晴らしさ」、「夜空に動くことなく輝く北斗七星」のように、ふるさとも変わることなく皆さんを応援していくというメッセージが込められています。皆さん、強くしなやかに成長していって下さい。

元校長／校歌作成者

幼少期よりずっと共に過ごしてきた居心地のいい友達社会。しかし、世の中には、自分たちと異なる考え方の人たちもいます。広い社会に出たとき、見聞を広げ、互いに切磋琢磨しながら自分の道を切り開いていけるたくましい心を培ってほしいです。

元支援員

砂取節が唄として残っていることがすごいです。揚げ浜式塩田が姿を消していく中で、唄も自然と忘れられてしまうのを、先人はそうさせませんでした。揚げ浜式塩田復興で唄の背景も見られるようになってきました。その後も継承し広める努力を先人たちはしてこられたのです。この間の経緯を知ることで改めて砂取節への思いを強くしました。

（PTA広報より一部抜粋）

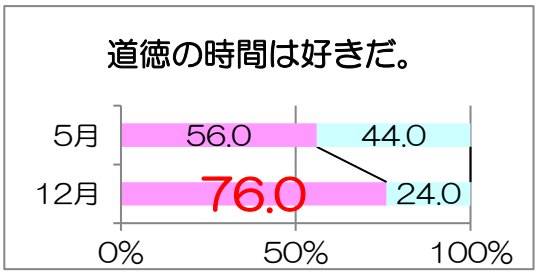
砂取節保存会

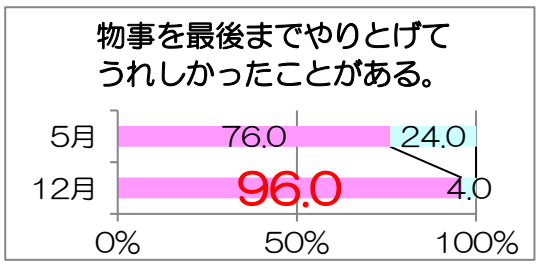
古代米の栽培は、日本の歴史を彩った人物と深い関わりを持つ郷土の史実に、子どもたちが関心を寄せ、ふるさと愛を育んでほしいとの願いから、町おこしの一貫として、約三十年前から私たちが取り組んできた事業です。黒米の田植え・稲刈りがみなさんの泉の一滴になれば、これ以上の喜びはございません。

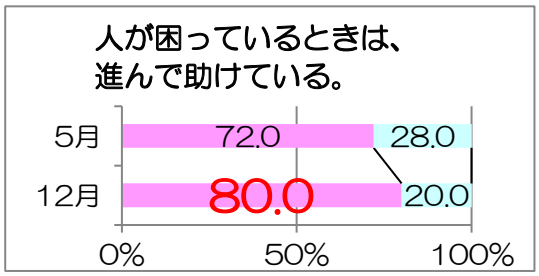
（PTA広報より一部抜粋）

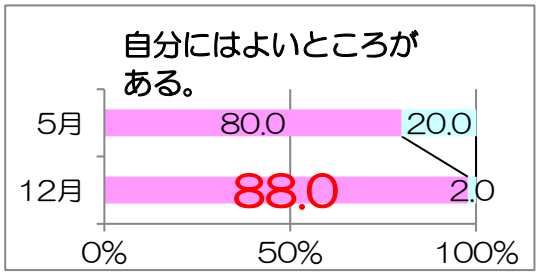
平家の里構想研究会

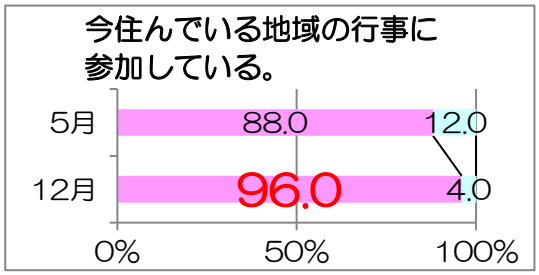
【児童生徒学習アンケート結果】

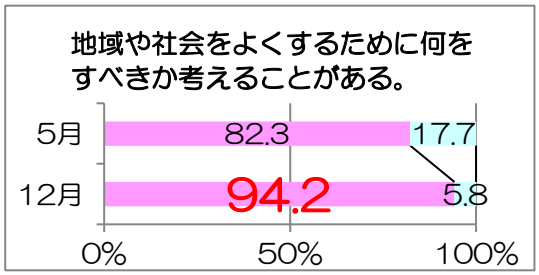












肯定的回答　否定的回答